

第 2 章

氣 象

第 2 章 気 象

概況（平成 20 年）

1 月

上旬は高気圧に覆われ、晴れる日が多くなった。中旬・下旬は日本の南岸を通る低気圧や前線の影響で、曇りや雨または雪の日が多くなった。気温は平年並、降水量は多く、日照時間は少なくなった。

2 月

中・下旬を中心に冬型の気圧配置となり、晴れる日が多くなった。また、寒気の影響を受けやすく、大阪の月間雪日数は 17 日となり、2 月としては 1931 年以降最も多くなった。気温は低く、降水量は平年並、日照時間は多くなった。

3 月

低気圧が数日の周期で日本付近を通過した。移動性高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。3 月の平均気温としては、1883 年以降高い方から第 2 位の記録となった。気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間は多くなった。

4 月

上旬後半から中旬を中心に南岸沿いを動きの遅い低気圧が次々と通過し、曇りや雨の日が多くなった。期間の終わり頃は高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並だった。

5 月

天気は、概ね数日の周期でかわった。上下旬の気温は高く経過したが、中旬前半に強い寒気が南下し平年を大きく下回るなど、気温の変動が大きくなった。気温は高く、降水量はかなり多く、日照時間は平年並だった。

* 近畿地方の梅雨入りは平年より早く、5 月 28 日ごろ（平年 6 月 6 日ごろ）となった。

6 月

梅雨前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなった。気温、降水量はともに平年並で、日照時間は少なくなった。

7 月

太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多くなっ

た。大気の状態が不安定となり雨の降る日もあった。27 日の日最低気温は 29.0 で、7 月としては 1883 年の統計開始以来、高いほうから 1 位の記録となった。気温はかなり高く、降水量は平年並で、日照時間は多くなった。

* 近畿地方の梅雨明けは平年より早く、7 月 12 日ごろ（平年 7 月 19 日ごろ）となった。

8 月

上・中旬は、太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多くなった。大気の状態が不安定となり雨の降る日もあった。下旬は、上空の寒気や暖かく湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多くなった。気温は、上旬、中旬は高く、下旬はかなり低くなり、変動が大きくなった。気温、降水量、日照時間ともに平年並だった。

9 月

前半は、高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、上旬は南海上の動きの遅い低気圧や暖かく湿った気流の影響で、大気の状態が不安定となり、雷雨となる日があった。後半は、秋雨前線や台風などの影響で、曇りや雨の日が多くなった。気温は、中旬は高く、下旬は低くなり、変動が大きくなった。気温、降水量、日照時間ともに平年並だった。

10 月

天気は概ね数日の周期でかわった。中旬は高気圧に覆われ晴れる日が多く、下旬は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。気温は高く、降水量は少なく、日照時間は平年並だった。

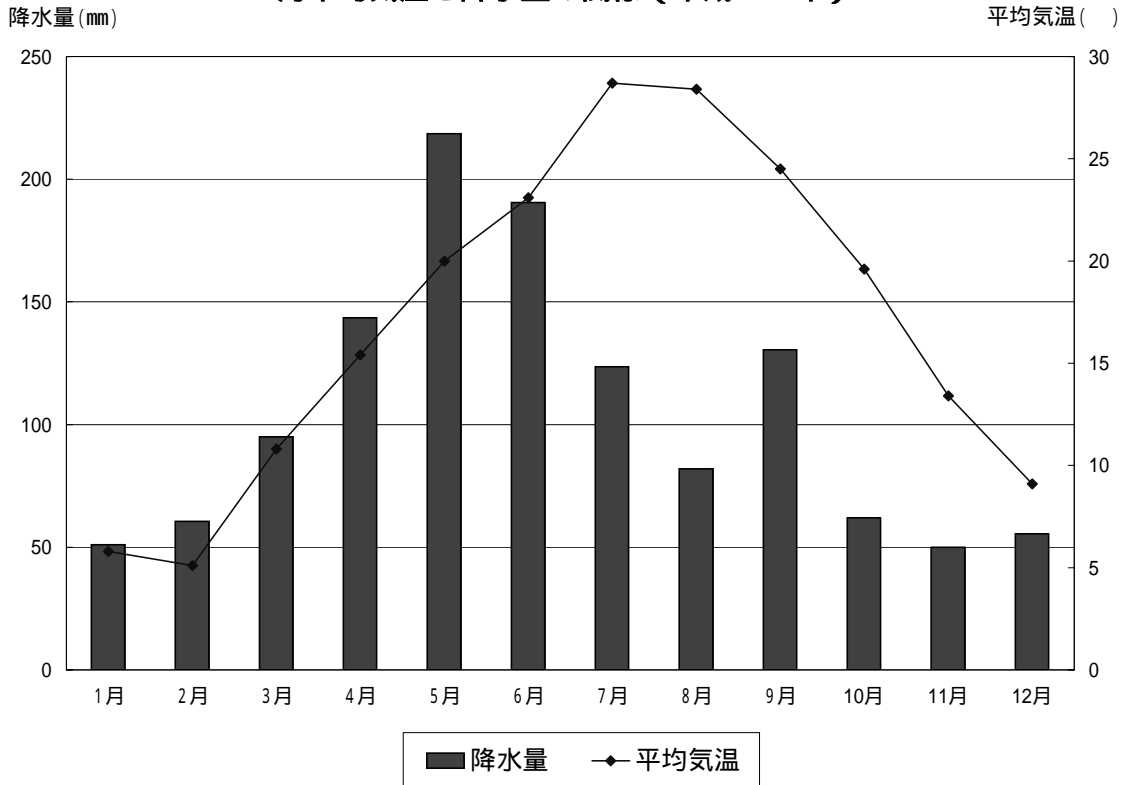
11 月

天気は概ね数日の周期でかわった。中頃を中心に寒暖の変動が大きくなった。気温、降水量、日照時間ともに平年並だった。

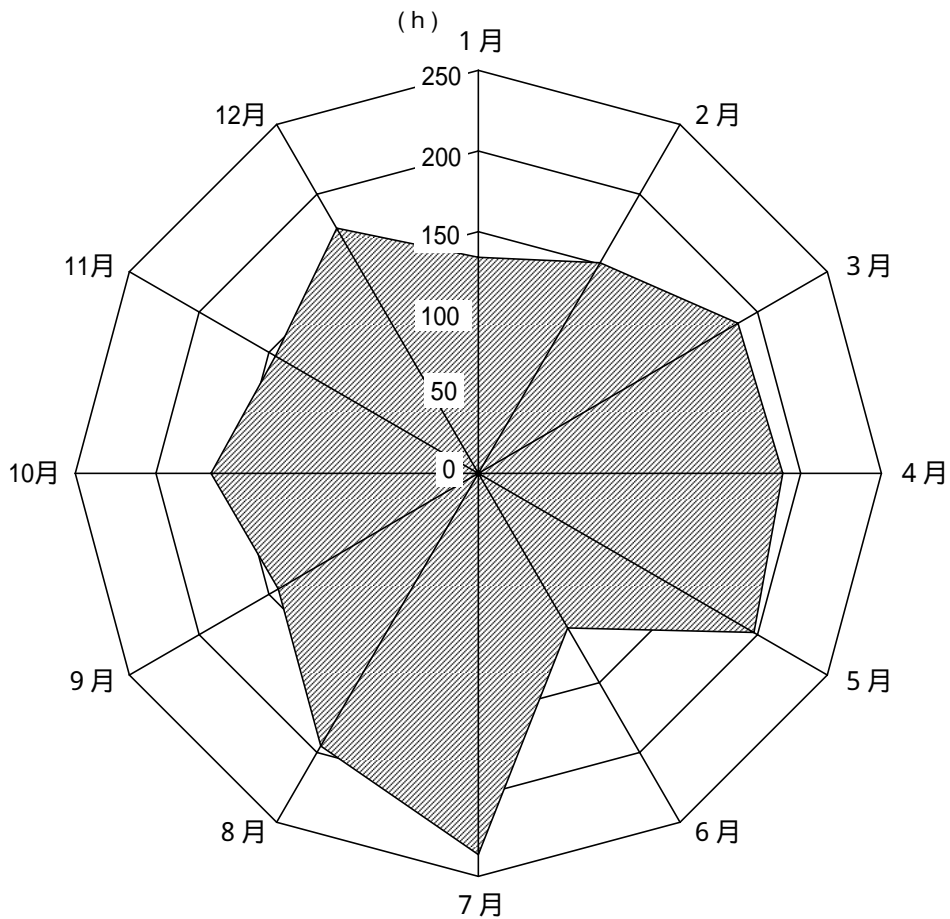
12 月

天気は数日の周期でかわった。冬型の気圧配置となる日は少なく、高気圧に覆われて晴れる日が多くなった。気温は高く、降水量は多く、日照時間はかなり多くなった。

月平均気温と降水量の関係 (平成 20 年)



月別日照時間 (平成 20 年)



2 - 1 大 阪 管 区 気 象 台 の 観 測 状 況

位 置	経 緯 度		海面上高	創 立 年 月 日	主 要 器 材 の 位 置	
	東 経	北 緯				
大阪市中央区大手前4-1-76 平成5年2月1日に現在の位置に移転。	度・分	度・分	m		気 圧 計 (海面上)	m 83.1
	135.31	34.41	23.0	明治15.7.1	温 度 計 (地上)	1.5
				(大阪測候所)	風 向 風 速 計 (地上)	22.9
					雨 量 計 (地上)	0.6

2 - 2 大 阪 管 区 気 象 台 の 統 計 値 1 (主 な 要 素 の 統 計 値)

ア) 全天雲に被われた場合を10とし、雲のない状態を0とした10分比である。
 イ) 「有感地震」とは「震度1以上を観測した地震」のことである。
 ウ) 極値、有感地震回数に平年値はない。
 a) 「」は準正常値：統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、その数が許容する範囲内である値
 b) 「」は資料不足値：統計値を求める対象となる資料が許容する範囲を超えて欠けている値。資料不足値は、正常値及び準正常値よりも品質が低下するが、統計方法によっては、有効活用することができる。利用に際しては十分留意すること。

年 月	平均気圧 (海面)	気 温			平均 湿度	ア) 平均 雲量	風 速			降 水 量		日照時間 総 数	イ) 有 感 地 震 回
		平均	最 高 値	最 低 値			平均	最 大 瞬 間	風 向	総 量	最 大 時 量		
平成16年	hPa				%		m/s			mm		時間	回
1 7	1 015.3	17.9	36.4	2.2	63	6.5	2.6	b)31.7]	南南西	1 594.5	40.0	2 243.8	7
1 8	1 014.4	17.0	37.0	1.2	62	6.9	2.6	23.5	南南西	909.0	36.0	2 098.3	3
1 9	1 014.9	17.0	37.9	1.9	64	7.0	2.4	25.8	北西	1 399.5	19.5	1 859.9	1
平成20年	1 014.8	17.6	38.3	0.4	61	6.6	2.4	26.9	西南西	962.5	28.0	2 124.5	5
1月	1 015.0	17.0	36.4	0.7	63	6.9	2.3	27.1	北北西	1 262.5	46.0	2 030.0	2
2	1 021.2	5.8	14.2	0.4	64	6.6	2.3	18.9	北西	51.0	2.5	134.1	0
3	1 019.7	5.1	14.2	0.7	60	6.2	2.5	18.7	西	60.5	11.0	150.9	0
4	1 016.8	10.8	21.4	1.3	60	6.0	2.6	16.4	西北西	95.0	10.0	186.0	0
5	1 014.4	15.4	26.5	5.5	59	6.9	2.4	13.4	西	143.5	7.5	188.9	1
6	1 010.9	20.0	29.6	10.3	59	7.3	2.5	15.2	北東	218.5	26.0	197.3	1
7	1 009.7	23.1	30.4	15.8	68	9.2	2.2)	12.1	北北西	190.5	22.0	110.9)	0
8	1 009.2	28.7	36.3	20.5	64	7.3	2.5	27.1	北北西	123.5	46.0	236.5)	0
9	1 008.0	28.4	36.4	20.2	65	7.5	2.7	15.4	西	82.0	14.5	195.4	0
10	1 012.1	24.5	33.2	14.2	67	7.2	2.1	15.4	北東	130.5	18.5	143.3	0
11	1 017.8	19.6	28.8	11.5	65	6.2	1.9	13.6	北北東	62.0	7.5	165.9	0
12	1 019.1	13.4	22.5	1.9	61	6.9	2.1	18.4	西南西	50.0	6.0	145.3	0
ウ) 平 年	1 020.5	9.1	18.8	0.6	64	4.9	2.0	13.8	西	55.5	10.5	175.5	0
資料	1 015.1	16.5	-	-	64	6.5	2.6	-	-	1 306.1	-	1 967.1	-

2 - 3 大阪管区気象台の統計値 2 (階級別日数・現象日数)

区 分	平成17年 総 数	平成18年 総 数	平成19年 総 数	平 成 2 0 年												
				総 数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量 0.5mm	105	121	109	121	11	8	11	9	11	14	6	10	16	10	8	7
降水量 1.0mm	92	112	98	108	10	5	11	9	11	13	6	9	14	8	7	5
降水量 10.0mm	34	47	28	49	1	3	5	6	8	7	4	4	5	3	1	2
降水量 30.0mm	6	10	9	7	0	0	0	1	3	1	1	1	0	0	0	0
雪 日 数	18	19	5	31	11	17	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
雷 日 数	18	19	19	25	0	0	2	0	3	1	4	7	7	0	0	1
霧 日 数	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日最大風速 10m/s以上	5	9	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
雲 量 < 1.5	14	20	22	19	1	0	3	2	2	1	0	0	1	3	2	4
雲 量 8.5	126	151	121	132	8	4	8	12	16	26	13	12	10	11	10	2
不照日数	33	58	37	41	5	5	4	3	3	6	0	1	5	5	2	2

資料 気象庁

2 - 4 地域気象観測所の平均気温

- a) 「」は準正常値：統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、その数が許容する範囲内である値。
 b) 「」は資料不足値：統計値を求める対象となる資料が許容する範囲を超えて欠けている値。資料不足値は、正常値及び準正常値よりも品質が低下するが、統計方法によっては、有効活用することができる。利用に際しては十分留意すること。

観 測 所	平成17年 平 均	平成18年 平 均	平成19年 平 均	平 成 2 0 年												
				平 均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
能 勢	13.5	13.7	13.9	13.5	2.1	1.1	7.2	12.0	16.8	20.2	25.6	25.4	21.7	15.8	9.2	5.0
枚 方	16.1	16.2	16.5	16.0	4.6	3.8	9.8	14.6	19.2	22.4	28.2	27.7	23.8	18.5	12.1	7.7
豊 中	16.3	16.3	16.8	16.5	4.9	4.0	10.0	14.9	19.6	22.9	28.7	28.4	24.6	19.0	12.5	7.9
大 阪	17.0	17.0	17.6	17.0	5.8	5.1	10.8	15.4	20.0	23.1	28.7	28.4	24.5	19.6	13.4	9.1
生 駒 山	11.7	11.8	12.3	11.9	0.7	0.6	5.6	10.4	14.7	18.0	23.3	23.0	19.6	14.8	8.3	4.6
八 尾	16.8	16.9	b)18.0]	16.6	5.3	4.5	10.3	14.9	19.5	23.0	28.8	28.6 a)24.4)	19.1	12.9	a)8.4)	
堺	16.3	16.4	16.9	16.6	5.3	4.7	10.2	14.6	19.2	22.4 a)28.6)	28.6	24.6	19.3	13.2	a)8.6)	
関 空 島	16.8	16.7	17.3	16.8	6.4	5.3	10.0	14.3	18.7	22.1	27.6	27.9	24.7	20.0	14.3	9.9
熊 取	15.8	15.8	16.4	16.0	a)5.0)	4.2	9.6	14.2	18.7	22.0	27.6	27.5	23.5	18.3	12.5	8.3

資料 気象庁

2 - 5 地域気象観測所の降水量

- 1)2-5表の大阪の値は地域気象観測統計値であり、2-2表の地上気象観測統計値とは若干異なる。
 a) 「」は準正常値：統計値を求める対象となる資料の一部が欠けているが、その数が許容する範囲内である値。
 b) 「」は資料不足値：統計値を求める対象となる資料が許容する範囲を超えて欠けている値。資料不足値は、正常値及び準正常値よりも品質が低下するが、統計方法によっては、有効活用することができる。利用に際しては十分留意すること。

観 測 所	平成17年 総 量	平成18年 総 量	平成19年 総 量	平 成 2 0 年												
				総 量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
能 勢	1 004	1 649	1 134	1 302.0	58	58	136.0	162.5	194.5	143.5	116.5	62.5	143.0	98.5	62.5	66.5
箕 面	1 016	1 611	1 191	1 282.5	45	50	104.5	145.0	215.5	180.0	114.0	109.5	132.5	80.0	52.0	54.5
枚 方	786	1 455	1 141	1 376.0	45	60	105.0	135.0	202.5	230.0	119.0	153.0	122.0	83.5	59.0	62.0
豊 中	780	1 493	1 011	1 309.0	47	48	98.0	124.0	222.0	181.5	163.0	115.5	139.0	74.0	56.0	41.0
大 阪	907	1 401	963	1 263.0	51	61	95.0	143.5	218.5	190.5	123.5	82.0	130.5	62.0	50.0	55.5
生 駒 山	1 109	1 550	1 272	1 499.0	59	66	113.5	178.5	258.0	202.5	114.0	134.0	165.5	92.5	66.5	49.0
八 尾	839	1 341	b)946]	1 038.0	51	58	84.0	124.5	178.5	111.0	50.0	53.0 a)169.0)	63.5	56.0	a)39.5)	
堺	882	1 339	1 053	1 193.5	54	55	86.0	135.0	210.5	135.0	a)56.5)	91.5	198.5	67.5	66.0	a)38.0)
関 空 島	729	1 117	863	1 008.5	43	39	88.0	103.0	225.5	130.0	54.5	70.0	95.0	57.5	68.5	34.5
河内長野	1 174	1 555	1 127	1 316.5	74	a)54)	97.0	147.5	238.0	158.5	31.5	66.5	205.5	93.5	101.0	49.5
熊 取	952	1 492	905	1 154.0	a)55)	58	105.0	134.5	201.0	146.0	38.5	81.5	136.5	69.5	85.0	43.5

資料 気象庁

